

#429 ざっくり黙示録 36
縛られるサタンと千年王国
～黙示録 20 章前半～

2022/07/28

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

皆さん、こんばんは。今回は新型コロナウイルス第 7 波蔓延ということで、急遽オンラインのみのざっくり黙示録となってしまいました。実は今日の講演に、2 人の方がパリから来たいと連絡入っていたんです。だけど残念なことです。きっとまたチャンスがあると思いますので、その時を待ち望みたいと思います。

さて、大阪の北部の方に淀川キリスト教病院があります。ここはホスピスのパイオニア的存在なんですね。ホスピスは末期癌の方や、治療が非常に難しく、現代医学ではどうにもならないという病苦で苦しんでおられる患者さんたちに、自分らしく人生を全うしてもらうためのお手伝いをする。痛みをコントロールするペインコントロール、痛みの軽減のために様々なケアをしてくれる医療施設です。

この淀川キリスト教病院から連絡が入って、「毎年秋に聖書講演会をやっているので、今年の秋、ぜひ講演してください」と依頼してくださって。「喜んで行かせていただきます」とお答えしました。なぜ毎年毎年、聖書の講演週間をなさっているのか。聖書は希望の書物だからです。

あるドクターが外国のホスピスの見学に行きました。そこに年老いた婦人がいたのですが、天涯孤独で子供もなく、唯一の家族は犬。愛犬のプードル。

でも動物は持ち込めない、そのプードルとも別れて、最期の日々を病室で過ごしていたんです。だけど、どうにもペットのことが気になって仕方がない。それで「3 日に 1 回でいいので、うちの愛犬を病室に入れてもいいでしょうか。」とうとう許可が下りました。何が起こったでしょう。

それまでペインコントロールが中々できなかつたんですね。鎮痛剤を入れるけど中々効かなかつた。でも、3 日に 1 回必ず楽しみがやって来る。3 日待てば必ず良いことが起こるといふささやかな希望によって、痛みがグンと減り、人生に対する向かい方が意欲的になり、一番驚いたのは、余命宣告を大きく超えているにも拘らず、今も比較的小康状態にある。その報告を聞いて驚いたそうです。

ここに、希望が人にもたらす力があります。

3 日に 1 回愛犬に会えるのは、ある意味ささやかな希望だと思います。

しかしそれが、薬物によってコントロールできなかつた多くのものを克服する力を与えるのなら、究極的な完全な希望～一切の病苦・死・罪の問題・人間関係のこじれ、今私を悩ませているすべての問題が完全解決する世界の中に私は必ず立つ。私の人生の中に実現する～という希望は、人をどんなに燃やすことでしょうか。

今までタップリ艱難時代のことについて語って来ました。黙示録は全部で 22 章ありますが、そのうちの 13 の章は艱難時代の内容で、それはどこを見ても気が滅入るばかりです。

しかし、黙示録が最も伝えたいのは艱難時代が終わった後のこと。艱難時代の次に来る世界が、どんなに全き平安と希望をもたらすか。黙示録は希望と勇気を与える書物なんですね。

完全な神の理想が実現している世界を**メシア的王国**と言います。

メシア的王国は千年間続くので**千年王国**と言うんですね。

千年王国をもたらすために、キリストが天から地上に下りて来ます。これが**地上再臨**です。

地上再臨のキリストを阻止するため、反キリストが全人類連合軍を結成し、無謀な戦いを挑みます。

この戦争が**ハルマゲドン戦争**です。

この内容は、前回の**黙示録 19 章後半**でお話した通りです。多くの軍隊がエルサレム目がけて入って来て、ユダヤ人たちと地上再臨のキリストを攻撃しようとしませんが、キリストの「ふっ」ひと吹きで、次の節ではミンチになっている。恐るべき権威です。

地上再臨の結果、反キリストと、彼を補佐していた偽預言者は、究極の地獄であるゲヘナに投げ込まれます。今日は、その次に何が起こるのかについてです。

艱難時代は7年間です。これは、反キリストとイスラエルが7年契約の安全保障同盟を結ぶことでしたね。7年間の最終日にキリストが地上再臨して、艱難時代が終わります。

地上再臨後 75 日間の準備期間、正式にメシア的王国/千年王国を準備するための期間があります。この75日間に、反キリストと偽預言者がゲヘナに投げ込まれたり、サタンが縛られて底知れぬ所に投げ込まれたり、艱難時代にキリストを信じたのか信じていないのか、生き残った人たちを裁く諸国民の裁きがあったり、教会とキリストの婚宴があったり、色んなことがあるんですね。

しかし、**黙示録 20 章**は2つに絞って書いてあるんです。これは**ざっくり黙示録**なので、終末論全体を網羅するメッセージではなく、75日間に起こる2つのことを考えたいと思います。

1) 75 日間の初めに、1 人の御使いがサタンを縛って、アブソス（底知れぬ所）～悪霊たちが一時的に閉じ込められる留置場のような所～に放り込む。
人類史上初めて、サタンが全く活動できない時代が到来する。それは人類に良いものをもたらす。

黙示録 20 章

1 また私は、御使いが底知れぬ所（アブソス）の鍵と大きな鎖を手にして、天から下って来るのを見た。（地上再臨直後のこと）

2 彼（御使い）は、竜、すなわち、悪魔でありサタンである古い蛇を捕らえて、これを千年の間縛り、

3 千年が終わるまで、これ以上諸国の民を惑わすことのないように、底知れぬ所に投げ込んで鍵をかけ、その上に封印をした。その後（のち）、竜はしばらくの間、解き放たれることになる。

だれがだれに何をするのか。1 人の御使いがサタンを鎖で縛りあげて、底知れぬ所に放り込む。

御使いがサタンを縛る。ここに大きな意味があるんです。

御使いはヘブライ語でマルアフ。単数形。

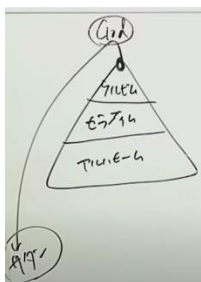
大きな意味では天的存在全体。狭い意味では最も位の低い御使いのことです。

実は、御使い/天使には三層構造のヒエラルキーがあります。

一番下がマルハイム（マルアフの複数形）。マルハイムのトップの軍団長がミカエル。

御使いの中ではっきり名前が書いてあるのはミカエルとガブリエルだけ。

他は無名です。名前はあるだろうけど、聖書には書いてないんですね。



その上がセラフ。主に御座の最前列で礼拝をリードする働きをし、6つの翼を持っています。

その上がケルビム。単数形はケルブ。ケルビムが最も位の高い御使いです。その中でもトップの最高位のケルブは“油注がれたケルブ”と旧約聖書に出て来ます。

そのはるか上に神がおられますが、この頂点に立っているケルブこそが、墮落する前のサタン。油注がれたケルブが神になろうとして、叩き落されてサタンになったんです。ハルマゲドン戦争直後、最も高い地位にいたサタンは最も低い天使によって、まるで摘み上げられるかのように簡単に捕縛され、**底知れぬ所に放り込まれる**んですね。

サタンはこの結末を今の段階から知っています。**黙示録**について、だれよりも詳しく知っているのはサタンかもしれません。なので、この結末を何としてでも変えようとして無駄な抵抗をしている。それがサタンの働きです。

日本の刑罰で一番重いのは死刑ですね。その次に重いのは懲役刑。それから禁固刑。禁固刑と言うと、なんかぐるぐる巻きにされるんちゃうかというイメージを持つかもしれませんが、禁固刑は刑務所に入れられて、かつ労働の義務がありません。働かなくてもいい。懲役刑は役務に就く義務があるんですね。作業しないとダメなんです。

では、サタンが受ける刑罰はどんなでしょう。日本の刑務所で、自傷行為や周りの受刑者に乱暴する人の場合は、手足をがんじがらめにするような、自由を無理やり奪ってしまうような拘束衣を着せます。サタンは、かつては自分よりも下の位だった御使いに捕縛され、しかも鎖で縛られて、アブソスに**千年の間放り込まれる**。アブソスに放り込まれることによって、活動の自由が全く無くなる。それが千年間続くのです。

それがなぜ良いのか。サタンの性質を見れば分かります。

2 彼（御使い）は、竜、すなわち、悪魔でありサタンである古い蛇を捕らえて、これを千年の間縛り、サタンは4つの名前で呼ばれています。

①**竜**。英語でドラゴン。ギリシア語はドラコンタ。非常に獰猛・凶暴な本質を表していると思います。というのは、旧約聖書で**竜**が出て来ると、だれもコントロールできないんです。大暴れするから。

②**悪魔**。ギリシア語でディアボロス。直訳は“中傷する者・悪口を言う者”。神に人を中傷する。いつも神に人を批判している。「彼は救われるに値しない者です。」「キリストを信じた後も罪ばかり犯しているじゃありませんか。」「あんな者を省みる価値はありませんよ。」

同時に、人に神を中傷するんですね。「神が愛なら、なぜこんな事件が起こる?」「神が全知全能なら、なぜコロナウイルス・疫病が出て来る?」「神が全知全能なら、なぜウクライナ戦争が始まる?」様々な災い・天変地異は悪魔が起こすのですが、その責任を全部神におっかぶせる。そして「神なんか信じるに値しない。」人に悪口を吹き込む。中傷する者。それが悪魔の本質です。

③**サタン**。敵対する者。神の計画に敵対する。人の信仰に敵対する。

今 安倍元首相の暗殺問題で、カルト集団の統一教会がすごくクローズアップされてますよね。あるコメンテーターが言ってました。「だから信仰ってやばいんだよ。宗教って怖いんだよ。」それを聞いた時、オウム真理教が捕縛された時のことを思い出しました。それ よく言われたんです。だけど、腐った物を食って病気になったからって、すべての食べ物を食べないという人がいますか。食べる行為そのものは悪くない。腐った物を食ったのが間違ってるんです。間違ったカルト宗教を受け入れた結果と、真理に従って行くことは別次元の話ですね。

このように、敵対者はありとあらゆるものを通して、福音が前進することを妨害しようとする。敵対者サタン。

④**古い蛇**。人類史上最も古い歴史は、最初の人類アダムとエバの物語です。

人類の祖先アダムとエバは、サタンのそそのかしによって神が禁じておられることを破り、信頼関係を裏切りました。そそのかすために悪魔はどんな武器を使ったか。嘘です。“悪魔は昔から嘘つきだ”と書いてあります。フェイク。偽り。真実でないもの。嘘でメチャクチャにしてしまったんですね。

今回の統一教会のことで色んなことが言われていますが、統一教会の収益の7割~8割は日本人からですよ。世界中にその支部はありますが、日本人が食い物にされている。

なぜ日本人ばかり騙されるのか。

統一教会は正体を隠して勧誘します。「私、統一教会です」と名乗ってやって来ることはありません。そして大抵、日本人が何となく信じているものに訴えて来るんです。それは手相と姓名判断。手相と姓名判断、あっちこっちにあるじゃないですか。

「私、手相を勉強してるんですけど、無料で見て差し上げたいんですが、どうでしょう。」

ピンポン押してやって来る。普通は「胡散臭いな」となるけど、彼らはあまり思われない。

「この人がまさか騙さないだろう」と思わせるような、若くてちょっと綺麗な清楚な感じ、身だしなみの整った丁寧な物腰の女性を使うから。

そして、手相や桑野式姓名判断。自分の苗字の画数の合計が晩年の運勢。名前の画数の合計は1歳~35歳の運勢。名前の合計と名前の一文字目の漢字の画数を足したものが36歳~55歳の運勢。

なんちゃらかんちゃら。

統一教会の教理では、“エバがサタンと不倫関係になって、その上でアダムと関係したので、人類にサタンの血筋が及ぼされている。これが人間の不幸の原因だ。”そんなこと、どこにも書いてない。統一教会は姓名判断を信じてないんです。なのに、なぜそれを使うのか。ターゲットにした人が姓名判断を受け入れているから。信じていないことを使って相手を怖がらせ、そして莫大な金を取る。

これは信仰ですか。違うでしょ！詐欺じゃないですか！

この点について、私個人のチャンネルで徹底的に叩いたやつを出したので、来週にでもご覧ください。嘘を信じ込んだために、人生がメチャクチャになってしまうことが横行しているんですね。

サタンは嘘を真実だと吹き込むだけでなく、真実を嘘として吹き込む。

「神なんか分からないんだ。要らないんだ。必要ないんだ」ということで、人間をくらましてしまうんですね。

凶暴で中傷する者、良い計画には反対ばかりし、嘘を垂れ流すサタンが、千年間完全に活動できなくなったら、この世界はどんなに安定するでしょう。

千年王国が理想的世界として成立するためにどうしても必要なこと、それはサタンから活動の自由を奪うことです。なのでこの75日間の最初に、サタンを放り込んで活動できなくするんですね。サタンは千年間の最後に再び一時的に解放されますが、それは次回お話しします。

2) 艱難時代に殉教した人たちが復活して、千年間キリストと共に王として君臨する。
その時、艱難時代前に携挙されたクリスチャンたちも、王として裁きの座に着く。

千年王国を統治する人たちの描写について考えましょう。

千年王国を統治するのは、大きく分けて2種類の人たちです。

① 艱難時代の前に携挙されたクリスチャンたち

4 また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たちがいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。

艱難時代の前にキリストを信じているクリスチャンたちは携挙されるので、艱難時代に遭いません。艱難時代の間はずっと天にいます。

では、艱難時代が終わったら、携挙されたクリスチャンたちは何をするのか。

王として、キリストと共に地上の千年王国を裁く人たち、統治する人たちになるんです。

4 節にはクリスチャンとか教会とか書いてません。それらの上に座っている者たちがクリスチャンのことですが、なぜそう分かるのか。

第1コリント6章

2 聖徒（クリスチャン）たちが世界（メシア的王国/千年王国）をさばくようになることを、あなたがたは知らないのですか。世界（メシア的王国/千年王国）があなたがたによってさばかれるのに、あなたがたには、ごく小さな事件さえもさばく力がないのですか。

今の時代、小さなことにこだわってクリスチャン同士がいがみ合っているのを見て、パウロが言いました。「あなたたち、将来どんなにでっかい仕事が残ってるか分かってる？ どんな立場に立つか分かってる？なんでそんな小さなことに、うじうじクヨクヨこだわるの？」ちょっと皮肉っぽく。ここで、**聖徒（クリスチャン）たちはやがて世界を裁く**と書いてあるので、それらの上に座っている者たちはクリスチャン・教会であると考えて間違いのないと思います。

② 艱難時代の殉教者たち

黙示録 20 章

4 また私は、イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間、王として治めた。

殉教者たちは75日の間の、どの段階かで生き返ります。

イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々は艱難時代前半の殉教者。

彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。

この人たちは艱難時代後半の殉教者。獣の刻印は後半3年半で起こる事件だからです。

キリストが復活した時の栄光の体に生き返らされ、キリストとともに千年の間、王として治めた。艱難時代に命を落としたクリスチャンたちが生き返って、キリストと共に千年王国を治めるんです。

だけど、艱難時代に命を落とすのは、キリストを信じた殉教者たちだけではありません。

反キリストに従った人たちもたくさん亡くなっています。天変地異とか疫病・戦争・飢饉…。

様々な理由で、艱難時代7年間の前半3年半で世界人口が半分になります。

今世界人口は約80億人。たった3年半で40億人減る。

キリストを信じなかったおびただしい数の人々は、この段階では復活しません。

千年王国の前に復活するのはキリストを信じた人たちだけ。

ところで、キリスト/神を信じた人たちは艱難時代以外にもいますね。

実はこの時、旧約時代の聖徒たちも復活します。

つまり、千年王国の前の75日間に、アブラハム・イサク・ヤコブ・ダビデ・ソロモン…旧約時代の

聖徒たちも復活します。ただし、旧約時代の聖徒たちは携挙の時に復活するわけではありません。

旧約時代の聖徒たちも、艱難時代が終わった後、千年王国が始まる前のこの期間に復活するのです。

イザヤ書 26章

18 私たちは身ごもり、産みの苦しみをしました。艱難時代です。

それはあたかも、風を産むようなものでした。

私たちは救いを地にもたらさず、世界の住民はもう生まれてきません。

ユダヤ人たちは艱難時代に苦労しますが、ユダヤ人自身からは何も良いものが出て来なかった。

産みの苦しみの後、普通は赤ちゃんが産まれますが、風を産むようなものでした。

私たちからは空しいものしか出て来ませんでした。ユダヤ人は全人類を祝福するために選ばれていたのに、私たちは救いを地にもたらさず、世界の住民はもう生まれて来ません。

このように悔い改めの言葉を言います。

19 あなたの死人は生き返り、私の屍は、よみがえります。覚めよ、喜び歌え。

土のちりの中にとどまる者よ。まことに、あなたの露は光の露。地は死者の霊を生き返らせます。

これは旧約聖書に初めて出て来る明確な復活預言です。

まことに、あなたの露は光の露。地は死者の霊を生き返らせます。

大地は露が下りると作物が実るように、神のいのちが下りると死者は生き返ります。

これはいつ起こるのか。18節を見ると艱難時代の後。

イザヤ書は旧約聖書なので、旧約時代の聖徒たちの復活を語っているんですね。

艱難時代が終わって千年王国の前に殉教者と旧約時代の聖徒たちが復活し、彼らも地を治める王となります。

ここから分かることは、油注がれたケルブのような有能な存在も、神に反逆するならアブソス（底知れぬ所）に放り込まれて、最後はゲヘナに行く。

しかし、迫害下で抵抗の術もない弱々しい小さな人でも、キリストへの信仰を持つならば、最後は王としてメシア的王国で君臨する。

すなわち、人生には2つの選択がある。

サタンが振り撒いている嘘を信じるのか。聖書が語っている福音を信じるのか。

悪に従うのか。神に従うのか。そのどちらかです。

神に従うとは最高に良い方について行くということ。その結果、最高に良い結末が待っているのです。

黙示録 20 章

6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。

この人々に対して、第二の死は何の力も持っていない。

彼らは神とキリストの祭司となり、キリストとともに千年の間、王として治める。

復活したクリスチャンたち・殉教者たち・旧約時代の聖徒たちには2つの特権が与えられます。

①キリストとともに千年の間、王として治める。

②神とキリストの祭司となる。祭司は神と人との仲介者です。

千年王国に入るのは復活した人だけではありません。

艱難時代にキリストを信じて生き延びた人たちは、死を経験せずに千年王国に入ります。

彼らは千年王国で多くの子孫をもうけ、人間が増えて行くんですね。

千年王国で生まれたその人たちと神との仲介者として、復活したクリスチャンたち・殉教者たち・旧約時代の聖徒たちが祭司になるんですね。

ところで、「この人に会いたいなあ」と思っても、紹介状がないと、また、取り次いでくれる人がいないと会うことができない人がいます。

今の上皇陛下・上皇后陛下が皇太子・皇太子妃の時代から天皇・皇后時代まで30回近く、個人的に面会したクリスチャンを知っています。私は彼から直接、その時の話を伺いました。

彼と外国で会った時に色々打ち明けてくださったんです。彼はキリストの伝道者です。

軽井沢のバイブルキャンプで、人々が突然フーッと騒ぎ立てたので見たら、皇太子殿下・妃殿下時代のお二人が、車に乗り込むために人々の所を歩いて行かれたんですね。もちろんSPがいます。彼は自分が書いたトラクトを持っていたので、美智子妃殿下に「これ読んでください！」と渡したところ、受け取ってくださった。簡単な読み物ですが、キリストによる救いについて書いてあるんです。

その日の夜に宮内庁から電話があって、「両陛下がお会いしたいと言っておられるので、明日3時にプリンスホテルまでお越しになれますか。」もちろんですよ。

早すぎても失礼になる。遅すぎても失礼になる。それで、3時ジャスト、3時ピッタリにプリンスホテルのフロントで「面会に参りました。」すると「両陛下は当ホテルにはおられません。」

「いや、確かに宮内庁から電話が！」調べてもらったら、軽井沢にプリンスホテルは2軒あるんですよ。山の方にもう1軒あって、彼は間違ってしまったんですね。

それで千載一遇のチャンスを逃したんです。「勿体ないことしてしまった」とガックリ。多分ガックリ来てるだろうと察してくださったんでしょう。また電話が掛かって来たんです。「明後日 3 時にいらしてください」ということで、今度は間違いなく、山の方のプリンスホテルに行きました。

そこで紅茶とクッキーが出されたのですが、クリスチャンの祈りを聞いてもらいたいと思い、「クリスチャンは食前にお祈りします。」中学 1 年生の長女ミチコちゃんを連れて行ってたので、「ミチコ、今日はキミが祈りなさい。」言った瞬間に妃殿下が「えっ？」ミチコですから。初対面の人に「美智子、おまえが祈れ」と言われたのでビックリなされた。「いや違います！ 娘のミチコです！」そんなドタバタが却って好感を生んだのでしょうか。30 年近く、毎年お声が掛かるようになったんです。

天皇皇后陛下との面会は、こちらから打診できません。先方から打診があった時、それを受けるかどうかだけなんです。ある時、「この日にいらしてください」とお誘いを受けましたが、その日は日曜日。自分の教会でメッセージをすることは、とても重要な働きです。「クリスチャンは日曜日を大事にしているので」と断りました。以来、お誘いは絶対に日曜日を外してくださったんです。

ある時お話が弾み、いつもは 1 時間きっかりで終わるのですが、両陛下がすごく聞き入ってくださったので調子に乗ってどんどん話し、証ししていたら、侍従長が来て「そろそろお時間です。」その時陛下が「とっても大事な話をなさっている。遮らないでください」とやんわりたしなめてくださった。それがとっても嬉しかったと言っていました。「国民との付き合いがあるから。」そうじゃない。非常に親しい交わり。その代わりに水を差すような人が入って来た時、「（柔らかく）やめてください。」

祭司とは何か。祭司でない人は祭司の口添え・執り成し・仲介がなければ神とキリストに近づけません。しかし、祭司は仲介無しにお会いできるんです。天皇皇后陛下にお会いすることがそんなにも特別なことならば、神とキリストにアポなしで、取り次ぎ・仲介者無しでいつでも近づくことができる、面会できることは、どれほど凄い特権でしょう。

そして、この偉大な良き人格に触れ、交わりを重ねて行くことは、どれほど素晴らしい感化を受けることになるでしょう。本当に尊敬すべき人格に触れた時、何か感化を受けますよね。「私もこんな人になりたいな」という志や、「私もこのようにやるべきだ」とチャレンジを受けたり。

神とキリストとじっくり交わる時、人格が受け取るエネルギー・良きものは、どんなものにも代えることはできない。そういうものを受け取り続けながら、キリストと共に王として君臨する時間が千年間続くんです。これがクリスチャンたちの未来に約束されていることだ、と聖書は語っているんですね。

私は先週、群馬県高崎市の高崎文化会館で聖書講演をしました。10 都県から 300 人来たんですよ。光栄でしたねえ。主催者から 2 時間話してくれと頼まれたんですが、2 時間やるってめっちゃしんどいですよ。それで 1 時間 45 分でやめました。残りの 15 分は質問の時間。「どんな質問でも結構です」と司会者が呼びかけた時、大抵あまり手が上がりませんよね。

人の目を意識して、あまりしょうもない質問するのは気が引けるみたいだ。
この時は違ったんですね。「もう時間です」言うてなのに、「もう1こだけ！ 10秒で済みますから！」それは嬉しかったですね。

ところで質問会を持った時、どこでも必ず出る質問が、この時も出たんですけど、「もし携拳されなかった場合、どうしたらいいですか。」

おそらくYouTubeをよくご覧になって、**ざっくり黙示録**もよく聞いておられる方でしょう。

「携拳されたいんです、私は。でも、されたいと思っていても、ある日教会に行ったら来てるのは私だけ。周りのクリスチャン全部おれへんとか、そうになったらどうなるんでしょう?!!」

そのように心配になるのは、私が時々妙な言い回しをしてしまうからなんです。

「クリスチャンはみな、携拳で天に引き上げられます。そのクリスチャンとは、自称クリスチャン・洗礼を受けているからクリスチャンとかではなく、ちゃんとキリストを信じている人です。」

この「ちゃんと信じている」という言い方ですよ。

どこまでちゃんとしたら「ちゃんとした」ことになるんですか。非常に微妙な言い方ですよ。

「私の説明が人々を混乱させているのではないか」と深く反省しました。

ちゃんとしたクリスチャンとは、罪を犯さなくなったクリスチャンのことではありません。

そんなクリスチャンはいません。毎日聖書を読んで、深い学びをしているクリスチャンではありません。もちろん、それをやるに越したことはないですが、模範的クリスチャン限定ではないんです。

ちゃんとしたクリスチャンとは、私の罪のためにイエスが十字架に掛かって死んでくださったこと、墓に葬られたこと、3日目によみがえってくださった方を自分の救い主として信じている人のこと。

この3つを信じていてもダメな場合があります。「えっ、あるんですか?!」あるんです。

イエスを被造物として見るなら、それは聖書が言う信仰告白ではありません。

おそらくたくさんの方が見ておられると思いますので、はっきり申し上げておきます。

エホバの証人は福音の3原則を信じていますが、イエスが神だとは信じていません。

なので無効です。ダメなんです。

第1コリント 12章

3ですから、あなたがたに次のことを教えておきます。

神の御霊によって語る者はだれも「イエスは、のろわれよ」と言うことはなく、また、聖霊によるのでなければ、だれも「イエスは主です」と言うことはできません。

「イエスは主です」の主はギリシア語でキュリオス（神）です。

ローマ時代は神をキュリオスと呼んでいました。つまりイエスは神です。主なる神です。

「私のために死んでよみがえられた方は主なる神です」は、**聖霊によるのでなければ言うことはできない。**

あなたはそれを言うことができますか。真心から「**イエスは主です**」と言うことができるなら、それはあなたが言ったのではなく、聖霊によって言わされたんです。

聖霊によるのでなければ言うことができない告白を言うことができたのなら、その人には既に聖霊が宿っていることとなります。なので、この聖句で、自分は本当に救われたクリスチャンなのかを確認できるのです。

いかかでしょうか。艱難時代に突入することなく、一足飛びで千年王国、キリストと共に千年間の素晴らしい時代を迎える。これが、神が私たちに準備してくださっていることなんですね。

次回は千年王国の次に来る世界、次に起こる大事件についてお話ししなければなりません。最後の審判です。今日は信者の将来について話しましたが、次回は、神を信じないで死を迎えた人たちの結末について黙示録が語っているところです。

聖書は靈感されている書物です。悪魔の攻撃は聖書のどこで始まりましたか。

旧約聖書の最初の書の3番目の章で悪魔が登場します。

悪魔の最後はどこに出て来ますか。

新約聖書の最後の黙示録の後ろから3番目の章/20章に悪魔の結末が書いてあるんです。

悪魔の攻撃で始まり、悪魔の滅亡で終わる。創世記で始まり、黙示録で締めくくられている。

この神様の壮大な人類救済のマスタープランが黙示録に描かれていることです。

ぜひ聖書を通して、ご自分の救い主と出会ってください。この方を信じてください。

心からお勧めします。

^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^

* 引用；新日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社

* 動画は YouTube で「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」

* ラジオ番組「[聖書と福音](#)」（約 15 分）もぜひどうぞ。YouTube もあります。

* YouTube「[ごうちゃんねる](#)」もぜひ見てください。